

3月の動態

人口	14,935人
男	7,148人
女	7,787人
世帯	2,672世帯
転入	28人
転出	168人
出生	23人
死亡	16人

群馬県甘楽郡甘楽町
 発行所 大字小幡甲852
 甘楽町役場電話(小幡)44
 編集総務課広報係
 印刷所 誠確堂印刷所

4月の納税
 一、国民健康保険税 第一期
 一、軽自動車税

昭和35年度町の予算決まる

歳入 七千八百八十四万円

歳出 第一中学校建築で増額

さる3月28日の町議会で、昭和35年度甘楽町歳入歳出七千八百八十四万八千六百二十二万円、特別会計甘楽町国民健康保険歳入歳出予算、同小幡簡易水道、同天引金井簡易水道各歳入歳出予算その他六議案を審議、決定しました。その概略を二面にわたってお知らせします。

◎一般会計

本年は第一中学校建築、小幡小学校完全給食、梅沢工場誘致、新農村建設事業等により、歳入歳出とも大変動がありますので、それを前年度当初予算と比較してみましよう。

まず、歳入では、町税の増税は行なわれないが、地方交付税の二百五十六万増を見込み、公営企業及び財産収入中新屋教員住宅、白倉巡査駐在所、福島公民館の建物売却代金百二十万、同(福島公民館をのぞく)敷地代金二十五万、国庫支出

金中、小幡小学校完全給食施設に対する補助金二十万、第一中学校建築費補助金八百七十四万、町債中八百二十万円の第一中学校建築資金起債が新しく予算に計上され、以上が前年度予算を千九百三十七万も上まわる原因をなしています。

また、減額された科目では分担金及び負担金がありますが、これは、土地改良事業費分担金が前年度は山盛りの予算であったのに対し、本年度は実質事業の分担金のみを検討を加えた結果減額したもので、事業が前年より減少することはありません。このほか繰越金の減は、合

併後の諸事業の増大によることから、この程度の財政規模では当然の理と考えます。

教育費が三九・七%

歳出 議会費、役場費、消防費等は義務的支出のみであり、あまり変化はありません。土木費の減は、前年度中に道路橋梁等の整備を相対行なつていたので、本年は第一中学校建築のための増額から、必要欠こののできないものとしました。教育費の二千三十七万円の増額は、小幡小学校完全給食の新事業費二百三十一万八千円と第一中学校建築費千九百七十四万です。この第一中学校建築費は、鉄筋コンクリート二階建三百八十坪の校舎と、木造平屋建、瓦葺五十坪の便所、小使室等の第一期工事費が計上されたものです。産業経済費の百三十二万八千円減は、農業振興費中の各種林業補助及び交付金の減と、林業振興費中の職員給諸手当等が役場費中へ移入され

新年度を迎えて

町長 齊藤 八郎



昨年2月1日甘楽町が発足して以来一年間、地方自治の本旨にそつて健全な歩みを続けられたことは住民各位のご協力の結果で、心から感謝申し上げます。

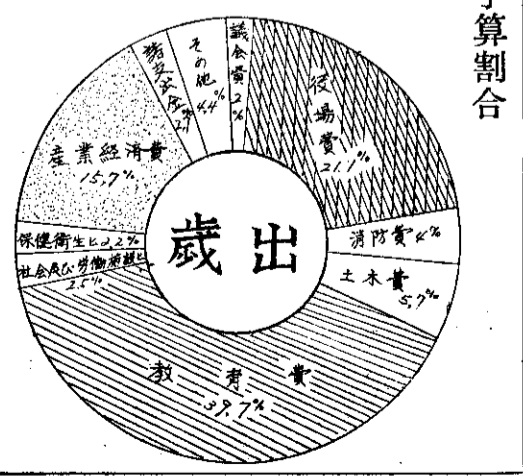
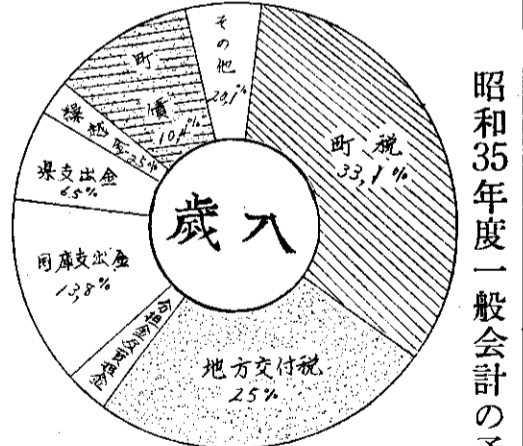
ここに、別記のとおり昭和35年度的一般会計、特別会計の予算が成立しましたが、このことは特に第一中学校の建築、小幡小学校の完全給食施設等多額の一般財源を必要とする新規大事業があります。このため、各種団体から予算増額と補助金の要求もあつたが、一部は見送り、一部は削減のやむなき措置をとつたわけで、これも町財政確立のために、みなさんの深いご理解をまつはかないのであります。

私は予算編成について、これが住民のとうとよく税金が財源であることと深く認識し、どの事務事業もすべて町の大切な仕事ですから、これが最も住民福祉に効果をあげ、かつ公平であるよう考慮しました。

たとえば、消防は住民の安全の秩序を守り、水災の防備を本領とし、土木費は道路、橋梁の整備によつて文化の交流、産業の発展等をもたらし、社会及び労働施設等は、住民生活の安定を図り、産業経済費は、農業はもろろん諸産業の振興、その諸団体の育成に使途され、このように不可欠のものばかりです。いかにしても、町税、交付税を主財源とする限り、税収入を決できないことと、この上を新年度にあたりお願い申し上げます。私の方針の一端とします。

たこと、前年度は耕地事業費を大幅に予算計上したが、実際上消化できなかったことなどが原因です。

その他、県道開通推進費、秋畑中学校の校庭整地費、福島青年学級費、国民年金取扱費、簡易水道運営協議会費、農地集団化事業費、県知事選挙費等が前年度当初予算になく、本年度新しく予算に盛り込まれています。本予算を総体的に申しますと第一中学校建築に重点をおき、冗費削減に努力したため、他の科目の予算を止むを得ざる事業費のみ計上したが、甘楽町の発展の整備のための予算は確保されているといえます。



昭和35年度甘楽町歳入歳出予算

科目	予算額	割合%
町税	26,093,330	33.1
地方交付税	19,700,000	25.0
国庫支出金	1,452,780	1.8
県支出金	2,445,000	3.1
寄附金	1,176,240	1.5
繰越金	10,848,031	13.8
雑収	5,132,821	6.5
町債	1,384,420	1.8
雑収	2,000,000	2.5
雑収	416,000	0.5
計	8,200,000	10.4
計	78,848,622	100.0

科目	予算額	割合%
議会費	1,533,000	2.0
役場費	16,673,263	21.1
消防費	3,132,280	4.0
土木費	4,489,400	5.7
教育費	31,307,623	39.7
労働費	1,983,180	2.5
衛生費	1,729,385	2.2
経済費	12,354,215	15.7
調査費	813,650	1.0
統計費	431,150	0.5
選挙費	198,000	0.3
公債費	1,645,288	2.1
支備費	2,151,500	2.7
予備費	406,688	0.5
計	78,848,622	100.0

参考
 前年度当初予算の割合は、歳入では町税四三・九%、地方交付税二八・八%、分担金及び負担金七・四%、国庫支出金二・五%、その他四・四%。

歳出では、議会費二・二%、役場費二七・四%、消防費四・八%、土木費八・七%、教育費三九・七%、労働費二・五%、衛生費二・二%、経済費一五・七%、調査費一・〇%、統計費〇・五%、選挙費〇・三%、公債費二・一%、支備費二・七%、予備費〇・五%、その他六・一%。

ことしの税金、住民の負担は、

町税	前年度		前年に比し		本年度	
	本予算	前年度	増減	前年比	本予算	1世帯当り
町民税	4,862,310	5,307,810	-	445,500	322円	1,819
固定資産税	15,733,310	15,615,880	117,430	-	1,044	5,886
軽自動車税	921,010	737,010	184,000	-	61	344
たばこ消費税	2,920,500	2,483,690	436,810	-	193	1,092
電気ガス税	1,550,000	1,573,000	-	23,000	102	579
その他	65,200	50,200	15,000	-	4	24
計	26,052,330	25,767,590	175,740	-	1,726	9,744

政府売渡し米

100%突破で表賞さる

甘楽町の昭和34年度の政府売渡し米は、昨年の第7号、第15号台風による減収にもかかわらず、生産者の熱意と、関係者の努力によつて次のように優秀な成績をあげ、さる3月23日、食糧庁長官から表賞を受けました。

予約目標数量三、五九五俵
 予約数量三、七七四俵
 減額変更数量四、〇九六俵
 政府売渡し数量四、〇九六俵
 出荷率一〇八・五%
 (経済課)



群馬県知事来町 二、日 四月二十三日午後一時
 二、場所 甘楽町中央公民館
 みんなで歓迎いたしますしよろ

工場紹介は紙面の都合で休載します

あさの栽培には知事の許可
 みなさん、あさを栽培しようとするときは知事の許可、けしを栽培しようとするときは厚生大臣の許可が必要です。

ただし、けしの中でひなげし、おにげし、ちしまひなげし等は許可なく、花の観賞用として栽培できます。みなさん、許可なく栽培すると罰せられることがありますからご注意

けしの栽培には厚生大臣の許可
 やみ栽培に
 罰あり

おことわり
 工場紹介は紙面の都合で休載します